

公募案内（教授）

所属	未来社会創成研究院
職名	教授
人数	1名
専門分野	宇宙探査学
職務内容	1. 月火星の物理場・環境場の計測を行う、探査機搭載可能な宇宙機器の開発を進める 2. 国際探査計画あるいは民間宇宙探査計画に深くかかわり、それを通じて社会インパクトを生み出す活動を推進する 3. 未来社会創成研究院における管理運営業務 4. 大学院における教育 東京科学大学未来社会創成研究院は、根源的な問いに答える研究を尊重しつつ、理学・工学・医学・歯学・人文社会科学の研究者が共創する科学的集合知により、多様な時空間的視座に立って社会課題の分析とその解決方法の長期的探索を連動して進め、社会に未来像を提示するような新たな研究領域を創出し、もって公正な社会の実現に資すること（RRI: Responsible Research and Innovation）を使命とします。 本公募では、月火星に人類が活動圏を拡大することを見据え、無人先行探査による環境探査・物理探査のための観測機器を開発する教員を募集します。特に、火星気象学、水資源利活用、大気化学、宇宙放射線、生命検出などに貢献する、ユニークな宇宙機器・宇宙デバイスの開発を進めることで、社会インパクトを生み出す研究者を求めています。
応募資格	博士の学位もしくはそれに相当する能力を有すること。
勤務予定地	大岡山キャンパス（最寄り駅：大岡山）
勤務時間等	専門業務型裁量労働制（みなし勤務時間：1日7時間45分、週38時間45分）
任期	任期有り：3年6月以内（最長で2029年3月31日。再任なし）
試用期間	6ヶ月
給与	年俸制※を適用する。 ※「退職手当一括支給型年俸制」 （本学退職手当一括支給型年俸制職員賃金規程による。） 年俸額は現行規程に基づき、採用初年度は年齢・学歴・職歴等により決定し、次年度以降は評価次第となります。なお、退職手当は、退職時に別途支給されます。 ●参考年俸額 <教授（博士修了後職歴15年、4月新規採用の場合）>

	採用初年度 一般的な額：924 万円 次年度以降 最低：914 万円 標準：1028 万円 評価により変動します 最高：1241 万円 <その他留意事項> ・ 規程上の金額例示であり、実績額ではありません。 ・ 基本給の調整額及び都市手当を含みます。その他、支給要件を満たす場合に、通勤手当、住居手当、扶養手当等を支給します。 ・ 採用後最初に支給される年俸加算額及び業績給（二）（賞与相当）について、採用日から支給日までの期間に応じて支給額に変動が生じます。（一部、国立大学等からの転入者について、在籍期間が通算される場合があります。）
社会保険等	厚生年金，共済（短期），雇用保険，労災保険
雇用主	国立大学法人東京科学大学理事長
着任予定	令和7年10月1日以降応相談
応募締切	令和7年8月8日（金曜日）17：00 必着
選考方法	書類審査ならびに面接
応募書類	1. 履歴書（高卒以上の学歴，職歴，賞罰・処分歴等，電子メールアドレス） 2. 業績調書：①学術論文（査読有），②国際会議論文，③総説・解説，④著書，⑤特許，等に分類／基調講演や招待講演は明記／学術論文と国際会議論文の被引用数（Citation）とそれらをまとめたh指数（h-Index）を，使用したデータベース名*とともに付記 *Google Scholar Citations, Scopus, Web of Science または Inspire 3. 主要原著論文別刷り3 編以内（コピー可） 4. 競争的研究資金及び外部研究資金の獲得実績（科学研究費補助金，受託研究費，その他の競争的資金に分類／名称，課題名，研究期間，総額，代表・分担，分担額（研究代表者でない場合は明記）） 5. これまでの主要な研究の概要（書式任意，A4用紙2 ページ程度） 6. 目指す研究活動の提案、未来社会創成研究院で起こせるシナジー、独創性、ビジョンなど（書式任意，A4用紙3 ページ程度） 7. 社会活動（学会活動における役職を含む）に関する実績 8. 参考意見を伺える方（2名）の氏名，所属，および連絡先
書類提出方法	応募書類を一つの ZIP ファイルにまとめて下記アップローダーからお願いします。 https://science-tokyo.app.box.com/f/f67d2b2a81474b6aa1868318ab211518

問合せ先	所属：未来社会創成研究院 氏名：教授 関根 康人 連絡先 E-mail: sekine@elsi.jp
その他	(1) 応募書類に含まれる個人情報 は本学の定めに従い、本人事選考にのみ使用し、他の目的には一切使用しません。 (2) 職務内容及び勤務予定地につきましては、今後、組織の変更等に伴い、本学が定める範囲内において変更される可能性があります。 (3) 本学では、多彩な人材を確保し、大学力・組織力を高めるため、全ての研究分野において外国人や女性の参画する均等な機会を確保します。 (4) 外為法に基づく特定類型該当性の確認あり (5) その他公募に関する事項は下記ページをご参照ください。 https://www.jinji2.jim.titech.ac.jp/koubo/ https://www.tmd.ac.jp/employment/